

浸水対策 順調に進む



地下15メートルで進められている雨水幹線築造工事を視察する岡崎市長ら

寺戸川1号雨水幹線築造工事など
防災パトロール



掘削現場の先端部分で作業をみるパトロール参加者



埋設される雨水幹線
平成9年雨期の
供用開始を目指
し順調に進んで
います。

梅雨期をまえに、5月15日(木)、防災パトロールを実施しました。これは毎年、大雨などによる災害の恐れがある危険箇所を点検するもので、パトロールには、岡崎市長をはじめ、高田京都府向日町地方振興局長、松尾乙訓土木事務所長ら関係者約30人が参加しました。

今回は、まず、貯水面積0.7ヘクタールの農業用ため池である主池(物集女町南条)へ向かい、昨年改修を行った堤体部を点検しました。

続いて、現在、府道中山稲荷線から第4向陽小学校までの市道地下で進められている公共下水道寺戸川1号雨水幹線築造工事現場(寺戸町八反田)を視察し、工事の進み具合を確認しました。

これは、例年、大雨時に床下浸水などの被害が発生する、第4向陽小学校付近の寺戸川周辺地域に、大型の回転カッターを掘り進むシルド工法により、現在、当起点から南へ約150メートルの地点まで達しており、平成9年雨期の供用開始を目指し順調に進んでいます。

雨水幹線は、直径4.5メートル、延長623メートルで、約1万立方メートルの雨水を貯留できます。貯留した水は、降雨がおさまった後、徐々に寺戸川へ排水します。

また、京都府桂川右岸流域下水道雨水計画と整合しており、将来、向日市で貯えられた雨水が府道中山稲荷線から国道171号線道路下に埋設される雨水貯留幹線に流れるよう計画されています。

工事は、大型の回転カッターを掘り進むシルド工法により、現在、当起点から南へ約150メートルの地点まで達しており、平成9年雨期の供用開始を目指し順調に進んでいます。

雨水幹線のしくみ



大雨により水量が一定以上になると、寺戸川から雨水幹線に水が流れ込み、一時的に貯留することによって地域の浸水被害を防ぎます。貯留した水は、降雨がおさまったあと徐々に寺戸川へ排水します。

環境月間(6月)の行事

市では期間中、次のような行事を行います。この機会に、わたしたちの生活様式を見直すことから、住みよい環境づくりについて考えてみましょう。

テーマ

地球とはもっと
なかよくなれるはず

- 5日(木) 花の苗の配布(トレニア) 300鉢
午前9時~ 市役所玄関前
- 6日(木) 環境保全街頭啓発
(花・野菜の種の配布)
午前11時~ ニチイ向日町店前
- 11日(火) 公共施設周辺清掃
(市役所・公民館・コミセンなど)
カラオケパトロール
街路灯パトロール
放置自転車の指導

- 16日(日) クリーンハイキング
(市民ふれあい広場・西向日公園
~勝山公園)
- 17日(月) 自動車騒音
24時間調査
- 19日(水) 不法投棄パ
トロール
- 24日(月)~28日(金)
大気汚染調査

▶お問い合わせ 環境対策課(内線235)